

# 協働

## 薬師中学校「学校運営協議会」の様子

3月4日(月)町田市立薬師中学校(矢島志津香校長)で、本年度最終の学校運営協議会が開催されました。矢島校長先生からは、学校状況報告、学校評価等の詳しい説明、次年度の教育方針・教育計画の話がありました。7名の委員さんは、一人一人真剣な面持ちで議題に対し建設的なご意見を述べられていました。当日配布された資料の中には、学校だより1月号と2月号がありました。鶴川エリアの5校が3学期から給食センター方式による完全給食実施について触れられていました。「いただきます」「ごちそうさま」等、食の大切さ、感謝について書かれてありました。また、1年生の白樺湖スキー教室にも触れられていました。けが人や体調不良者もなく、最終日には全員が滑れるようになったそうです。また、2月号は「ごめんなさいが言えますか」という題で、「ごめんなさい」という言葉のもつ意味・大切さ、言うタイミングについて学校生活、社会生活を営む上での責任ということと照らし合わせて深く考えさせられる内容でした。会の最後は、次年度の学校運営協議会の予定・内容に触れ年間行事予定の確認・承認がありました。とても充実した内容でした。管理職の先生方、学校運営協議会の皆様お疲れさまでした。



## 本町田小学校「ありがとうの会」の様子



3月6日(木)に本町田小学校(杉本勉校長)でお世話になった地域の皆様、ボランティアの皆様へ感謝の思いを伝える会、「ありがとうの会」が開催されました。学校支援センターにもご案内をいただきましたので、早速取材に出かけました。各学年・みどり学級が合唱・合奏で感謝の思いを伝えました。プログラムは、3年生：手話と合唱「世界が一つになるまで」、4年生：合唱「ツバメ」、1年



められた合唱でした。また、自分たちが「本町田小学校最後の卒業生」であることの決意ある合唱でした。卒業式のその日までリーダーとしてしっかり頑張りますという力強い言葉もありました。

23年間の伝統をもつ「ありがとうの会」終了後には、学校運営協議会が開かれました。杉本校長先生から学校評価の報告と次年度の学校経営計画について丁寧な説明があり、そして承認がなされました。本町田小学校での子供たちの成長の喜びを最後の「ありがとうの会」に参加された委員の皆様からお一人ずつ感想を語られていました。また、先日行われた閉校式での校長先生の思いにも言及され、地域のご来賓の皆様は会場前に座っていただき、児童の代表は後方に座り、地域に支えられた学校としての感謝の気持ちをお伝えさせていただいた。その思いを受けて委員の方からは、「ありがとうに優る言葉はない。」というお話もありました。本町田ひなた小の新たな学校運営協議会委員の継続についてのご依頼もされていました。最後に、学校支援センターGVCからも感謝の思いを込めたごあいさつをさせていただくことができました。

町田市全体の地域学校協働活動の実践は、各地区、統括VC、中学校VCミーティング、クロムブック研修会等、報告、協議内容からも、各校の活動が充実してきていることを実感しています。学校支援センターとしても、それぞれの地域性、特色に応じた自分たちの学びを創る活動で、どのようなサポートが求められているのか現場の考え願いを良く聴き受け止めながら、CSと地域学校協働活動の一体的推進を目指していきたいと考えています。次年度も引き続きご支援ご協力の程お願いいたします。



(文責 学校支援センター 宮島 天利 黒部)